

県民の皆様へ福井県歯科医師会からのお知らせ



県民の歯を守る週間の各地区イベントの中止について

例年行っています「県民の歯を守る週間」の各地区でのイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止と致します。ご理解の程よろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染拡大を受けた緊急事態宣言が福井県でも解除されています。私たちは以前より、様々な細菌やウイルスによる感染症に対して感染予防対策を行った上で診療をまいりました。

今回の新型コロナウイルス感染症に対しては、特に接触感染、飛沫感染を防ぐ対策をとっています。**これまでに、わが国では歯科医師・スタッフから歯科治療を通じた患者さんへの感染例はありません。**

歯科診療について

最近、口腔内の症状が悪化してから来院するケースが増えています。

歯科医療は不要不急ではありません。

私たち歯科医師は、必要な歯科治療を受けられないことによる口腔内疾病の重症化のみならず、全身に及ぼす影響を懸念しています。決して自己判断をなさらずに、かかりつけ歯科医に相談してください。

お口の中を清潔にして細菌数を減らすことが誤嚥性肺炎やウイルス性疾患の予防につながります。今こそ歯磨きやお口の体操をして、口腔の健康を維持しましょう。

お口の健康は全身の健康と深い関係があります

狭心症・心筋梗塞



心内膜炎

歯周病の原因菌が心臓を取り巻く冠動脈に感染すると、毒素や炎症を引き起こす物質が血栓を起こしやすくし、歯周病の人はそうでない人に比べて、心臓発作を起こすリスクが2.8倍も高いという結果があります。^{※1}心臓の内膜や弁膜に障害のある方にみられる細菌性心内膜炎は、その原因菌として、口の中にある連鎖球菌や歯周病菌も報告されています。



動脈硬化

アテローム性動脈硬化症(コレステロールなどの脂質が動脈内膜におかゆ状に沈着した動脈硬化)の程度が歯周病と関連することがわかってきました。

^{※1} Beck J, Garcia R, Heiss G, Vokonas PS, Offenbacher S: Periodontal disease and cardiovascular disease. J. Periodontol., 67:1123-1137, 1996
^{※2} Yamamoto et al. Psychosomatic Medicine. 2012

認知症



歯の残存数が20本以上ある人と、歯がなく義歯(入れ歯、インプラントなど)も着けていない人とは、認知症になるリスクは1.9倍と大きな差異が見られます。^{※2}

肺炎



歯周病菌が肺の感染部分から検出されて、肺炎の原因の一つとして注目されるようになりました。誤嚥によって、細菌が呼吸器に侵入し、肺炎(誤嚥性肺炎)を引き起こすと考えられています。

糖尿病



糖尿病の人が歯周病にかかりやすいこと、また歯周病菌が血糖値をコントロールするインスリンの働きを阻害し糖尿病を悪化させることが知られています。

